

議員提出第二十三号議案

新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

新型インフルエンザは、これまで多くの患者が軽症で回復してきた一方で、十一月二十五日現在全国で七十三名もの新型インフルエンザ感染者が死亡しており、子どもや妊婦、高齢者のほか、基礎疾患を有する人などを中心に重症患者が増加するなど、対策の強化が急がれている。

今後も新型インフルエンザの大流行が強く懸念される中、ウイルスの性状変化による毒性の増大や薬剤耐性の獲得が生じた場合などに備えて、これまでの対策について不断の検証を行い、新たな対策を講じていく必要がある。

よって、国会及び政府におかれては、新型インフルエンザ対策を強化するため、次の施策を推進するよう強く要望する。

- 一 院内感染対策の徹底など、医療従事者や重症化の恐れのある基礎疾患を有する人などの感染防止対策を強化すること。
 - 二 重症患者に対する適切な医療提供体制を確保すること。
 - 三 感染拡大及びウイルスの性状変化を早く探知するサーベイランス（調査・監視）を実施すること。
 - 四 ワクチンの速やかな製造と公的助成による接種体制を整備すること。
 - 五 地方自治体、医療機関、一般国民に対して迅速・適切に情報を提供すること。
- 右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成二十一年十二月十日

大分県議会議長 安 部 省 祐

衆議院議長	横路孝弘殿
参議院議長	江田五月殿
内閣総理大臣	鳩山由紀夫殿
国家戦略担当大臣	菅 直人殿
総務大臣	原 口一博殿
財務大臣	藤 井裕久殿
厚生労働大臣	長 妻 昭殿